

6月定例会号

わかやま 市議会 だより

No.098 令和2年(2020年)8月1日発行

目次

- ・特集 和歌山から世界へ
新たな技術を創造する P2
- ・正副議長の挨拶／6月定例会の概要 P4
- ・採決状況 P5
- ・一般質問 P6
- ・委員会審査の概要 P10
- ・永年在職議員表彰など P12



和歌山で学ぶ!

和歌山から世界へ 新たな技術を 創造する



和歌山市栄谷にキャンパスを置く和歌山大学の協働教育センター「クリエ」。ここでは、学生がこれまでの教育とは異なる模範解答のない課題や誰も挑戦したことがない夢に向かって主体的に取り組む活動を支援しています。今回、クリエプロジェクトの中で和歌山から世界へチャレンジする和歌山大学ソーラーカープロジェクトの取組について、代表の森島さんをはじめ学生の皆さんにオンラインで取材しました。

成長から広がる絆

和歌山大学ソーラーカープロジェクトは、学生がソーラーカーの設計、システム開発、製作から広報活動まで行っており、学部や学年の枠を越えた総勢34名の学生が男女問わずそれぞれの得意分野を生か

し、プロジェクトを支えています。

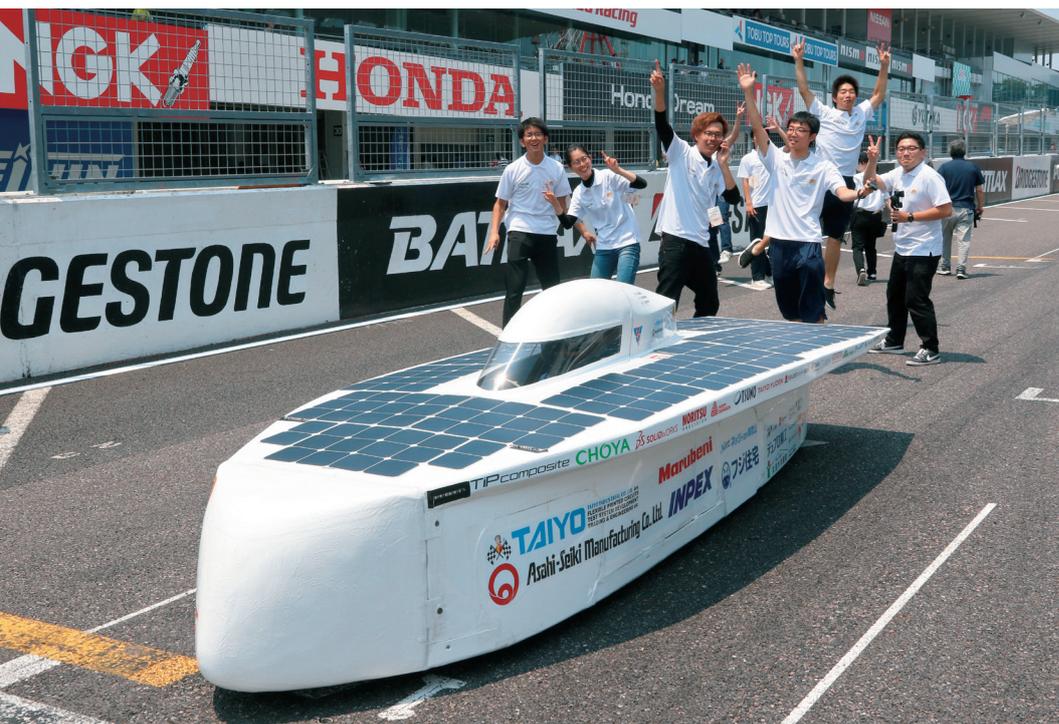
自分たちで考え、行動した結果が形になってあらわれるということがこのプロジェクトの醍醐味です。また、専門的な知識や技術面での協力を求めて地元企業を訪ねることもありますが、このこと

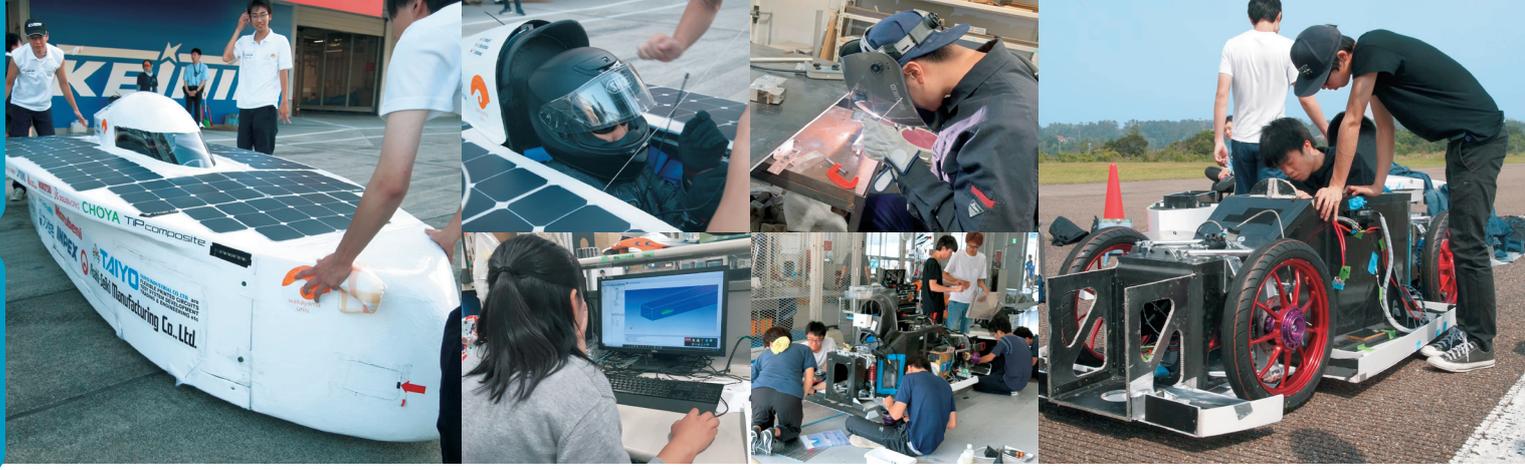
が地域を学び、学生と地域を結ぶきっかけとなり、こうした社会の先輩との交流の場が学生を大きく成長させています。そんな間近で成長していく学生を見て、応援したいという思いから、協賛企業も今では県内外を問わず広がっています。

クリエプロジェクトとは、共通の目的・目標を持って集まった学生が、組織運営・ものづくり・ことづくりを、指導教員とともに進めていくプロジェクトです。



※クリエ公式マスコットキャラクター「くりえもん」





時速100kmで挑む！夢舞台

ドライバーも学生が担う中、先輩からの技術の伝承、企業との連携、人と地域との様々なつながりを積み重ね、近年、その成果が実を結びつつあります。国内で最も歴史のあるソーラーカーレース鈴鹿では、2016年に4時間耐久レースで見事にクラス優勝、翌年も準優勝と好成績を残しています。2019年には、より難易度の高い5時間耐久レースに初出場し、ク

ラス5位と次につながる結果となつています。今後の目標は、「2021年に開催される世界最高峰のソーラーカーレース、オーストラリア大陸約3000kmを縦断するブリヂストン・ワールドソーラーチャレンジに初参加で世界トップ10入りを果たすこと」。和歌山から世界へチャレンジする学生の活躍が今から楽しみです。

ふるさと和歌山のために

ソーラーカープロジェクトでの活動を通して、専門的な知識や技術を習得し、周りとの協力しながら目標を達成していくという貴重な経験をした卒業生には、協賛企業などの県内企業に和歌山県出身ではなくても就職する方、また、和歌山から一度離れても愛着のあるふるさと和歌山に帰ってくる方もいます。

すいよう、にぎわい創出拠点の整備や大学誘致など様々な施策を行い、まちなかを活性化させるとともに、次世代の人材育成・就業機会の確保にも力を入れています。

和歌山市では、そんな若者たちが暮らしやすく、働きや

和歌山で学び、地域とともにまちを活気づけ、盛り上げてくれた学生が今度は和歌山市を支える人材になってくれる、そんな和歌山大学・クリエの活動を市議会として応援していきたいと思えます。

編集後記



市議会初 オンライン取材

写真上段中央
代表の森島さん



今回の特集記事は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により大学現場での直接取材がかなわず、市議会として初めてオンラインを用いた取材を行い、編集しました。

会と一緒に、どんな課題にも本気で向き合い、世界ランクを目指す熱い想いにすっかり魅了される取材となりました。

ソーラーカープロジェクトに取り組む学生が地域社

さあ飛び出そう！ 想いは世界へ。

特集担当：佐伯 誠章、古川 祐典、坂口 多美子

正副議長の挨拶

市民の皆様には、日頃から議会活動及び市政発展にご理解とご協力を賜り、感謝申し上げます。

さて、新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、雇用・教育・企業活動等あらゆる分野で多大な影響が生じています。また、新しい生活様式が提唱されるなど、暮らしのかたちそのものを変えていく必要があるとも言われています。このような状況の中、市民の皆様には、今の生活への不安や収束時期が見通せない将来への不安を抱えていることと存じます。

和歌山市議会では、定例会や臨時会、議会運営委員会において関連議案や事業の審議を重ね、随時、的確な施策の実現に努めているところです。

このたび新しく就任いたしました奥山副議長とともに、更なる努力を尽くす決意でございますので、今後とも、一層のご理解とご協力を賜りますようお願いいたします。ご挨拶いたします。

議長・副議長の経歴



副議長

おくやま あきひろ
奥山 昭博

(令和2年6月12日就任)
平成15年初当選 現在5期目
環境保全対策特別委員会委員長、厚生委員会委員長、和歌山市農業委員会委員、和歌山市監査委員などを歴任



第86代議長

いのうえ なおき
井上 直樹

(令和元年5月24日就任)
平成15年初当選 現在5期目
厚生委員会委員長、公営企業決算特別委員会委員長、議会運営委員会委員長、和歌山市議会副議長などを歴任

6月定例会の概要

開会

6月12日

- ・会期の決定(6月12日～7月1日)
- ・議員発議(条例案1件)、採決
- ・副議長の選挙

- ・永年在職議員表彰
- ・議案説明(報告関係7件、承認関係5件、議案24件(補正予算案1件、条例案11件、その他12件))

一般質問等

6月16日

- ・中庄谷孝次郎議員、坂口多美子議員、西風章世議員

6月18日

- ・森下佐知子議員、山本忠相議員
- ・追加議案の説明(補正予算案2件、その他2件)

6月17日

- ・中村元彦議員、南畑幸代議員

6月19日

- ・吉本昌純議員、北野 均議員(P6～P9に概要掲載)
- ・議案の委員会付託

常任委員会

6月22日～25日

- ・総務委員会、厚生委員会、経済文教委員会、建設企業委員会で議案について審査

6月26日

- ・各常任委員会で議案について、討論及び採決(P10～P11に概要掲載)

特別委員会等

6月29日

- ・地震等災害対策特別委員会
- ・議会運営委員会で議案について審査

閉会

7月1日

- ・各常任委員会の委員長報告
- ・反対討論(南畑議員)、採決
- ・追加議案の説明(人事案件26件)、採決
- ・議員発議(意見書案2件)

令和2年度予算(6月補正後)

| | |
|--------------|-----------------------------------|
| 一般会計 | 1,902億2,479万3千円 (補正額7億930万2千円) |
| 特別会計及び公営企業会計 | 1,390億939万1千円 (補正額1,235万円) |
| 合計 | 3,292億3,418万4千円 |

補正予算の概要

一般会計では、新型コロナウイルス感染症対策として教育施設・福祉施設等へのマスクや消毒液の配備、PCR検査に要する経費、住居確保給付金などが計上されました。また、自主防災組織などへの資機材の整備、和歌山城ホールの指定管理料、障害者スポーツ推進事業、若竹学級教室新設事業、小・中学校維持管理事業などに要する経費が計上されました。

特別会計では、卸売市場事業特別会計で、流通改善支援事業などに要する経費が計上されました。

これらの補正予算案は慎重審査の結果、可決されました。

ピックアップ **一般質問**

一般質問の概要では、多数ある質問項目の中から、特に市民の皆様へお届けする内容をピックアップした上で掲載しています。



録画中継をご覧いただけます。

※各会派のスペースは、会派の所属議員数によりその大きさが異なります。

公明党議員団



にしかぜ あきよ
西風 章世

市民向けの独自支援

問 新型コロナウイルス感染症拡大を抑えるため、使命感を持って対応している保健所、衛生研究所の職員、また、市民の皆様には県外への外出自粛や緊急事態宣言下でのステイホームにご協力いただいたことに心か

ら感謝します。

コロナ禍において、市民生活に影響がある中、県内の市町では、総務省の特別定額給付金に1万円を上乗せしたり、水道基本料金の免除や5000円分の商品券を配布するなど、独自の支援を行っている。

本市も、市民の皆様へ感謝の意を込めて、本市の経済支援につながるような支援策を実施できないか。

答 新型コロナウイルス感染症の発生が抑えられていることは、市民の皆様のご協力のたまものであり、深く感謝している。

本市では、国の支援策に加えて市民生活や経済活動に対する独自の支援策に取り組んでおり、これらをできるだけ早く、確実に必要とする方々にお届けするとともに、国の補正も活用しながら、経済的な支援や新しい生活様式への施策を速やかに実施していく。

事業者向けの独自支援

問 経済産業省から持続化給付金として、前年同月比で50%以上事業収入が減少

した法人に上限200万円、個人事業者に上限100万円が支給されるほか、県では独自に、持続化給付金の給付を受けた事業者を対象に従業員数に応じて20万円から100万円が支給される支援策がある。これらの対象外となる50%減少に満たない事業者に対し、本市から給付金を支給するなど、何らかの支援はできないか。



答 本市では、融資枠の拡充や利子の補給、保証料補助制度に始まり、特に影響が大きかった飲食業、宿泊業への支援策として「テイクアウト・デリバリー支援事業」「プレミアム付飲食クーポン事業」「和歌山市宿泊促進事業」を実施している。また、幅広い事業者にも利用

できる「中小企業サポート補助金」を創設するなど、事業継続に向けての支援を進めている。

新型コロナウイルス感染症の影響は、今後も長期にわたる可能性があることを踏まえ、持続化給付金の対象とならない事業者を含め、どのような支援が求められているか不断の検討を行うことが重要だと認識しており、引き続き国・県の動向や市内経済の状況を注視しながら進めていく。

被災者支援システムの活用

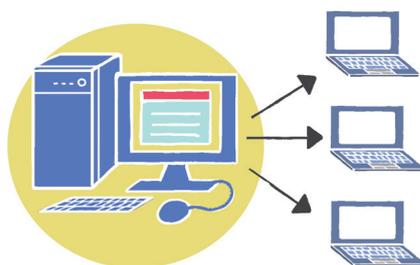
問 全ての国民に一律10万円が支給される特別定額給付金について、申請支給事務を迅速に行うため、被災者支援システムを活用した自治体があった。

被災者支援システムは、住民基本台帳を基にしており、災害発生時には業務が円滑に実施できるように支援する情報システムである。

今後の給付金事業の支給を少しでも早くするために、被災者支援システムの改修版を導入してはどうか。

答 被災者支援システムの改

修版の導入については、今後の給付金事業の内容等によるが、その事業に活用できる場合は、導入を検討していく。



自由民主党市議団



なかむら もとひこ
中村 元彦

コロナ禍及びコロナ禍収束後の対応／自然との共生

問 地球環境を守っていくためには、自然との共生を実行しなければならぬと考えるが、里山の再生やコロナ禍における農業振興についての考えはどうか。

また、コロナ禍においては、和歌山市独自の生活様式と勤労形態を考え、かつ、財政状況の改善策を模索しなければならず、農業振興を通じて自然環境と生活環境に即した独自策を練り上げてはどうか。

さらに、将来を見据え、国内食料自給率向上に寄与していくことは当然だが、自然との共生を念頭に置き、地球で平穏に暮らせることへの感謝の心を持ち、自治体のトップとして施策を熟慮してもらいたいがどうか。



里山の整備

答 里山の再生については、その環境に触れることにより、人と自然とが共生する美しい里山を考えるきっかけになると考える。また、農業振興については、コロナ

禍により農業への新規参入を考える個人や法人、興味を持つ市民の方が増加する考え、今後はこうした需要の増加を敏感に捉えて取り組んでいく。

本市は、豊かな自然に恵まれている一方で、都市機能が集積していることが魅力の一つである。こうした魅力を最大限に活用し、農業振興や田園住居地域などのまちづくり、更には、移住・定住の施策とも組み合わせ、コロナ禍を大きな転機と捉えて、本市ならではの施策を検討していく。

今後とも平穏な日常の大切さや感謝の気持ちを忘れず、食料自給率の向上に寄与できるよう、担い手の育成や確保、生産の増大など、農業振興に資する諸施策に取り組んでいく。

学校再開後の心のケア

問 長期に及んだ休業により登園、登校を嫌がる子供、新型コロナウイルス感染症に対する不安から登校できていない児童生徒、保護者や教職員も含め、心のケアについて、今こそ臨時的に

でもカウンセラーを全園、全校へ配置すべきだと考えるがどうか。

また、一つの対策に注力し、大切なことを見落としはならない。感染症に加えて熱中症も危惧されるが、エアコンを適切に使用し、児童生徒の体調管理を行っているか。



答 スクールカウンセラー、スクールサポートスタッフなど、学校への人的支援を県に要望していく。コロナ禍の状況においては、幼稚園を含め、必要なカウンセリングが実施できる体制を整えていく。

エアコンの使用については、子供たちの健康状態を注視しながら、柔軟に適切に行うよう指示していく。

政和クラブ



きたの ひとし 北野 均

和歌山市駅周辺の都市デザイン

問 和歌山市駅周辺の都市デザインとして人を引き付けるような施策も、実行するための財源が一番の要因だと思うが、現時点の財政状況で新たな事業に着手できる能力があるのか。



南海和歌山市駅周辺

答 新たに普通建設事業に着手するには国費や市債で財源を賄うことになるが、後年度、市債の償還で必要な一般財源のほか維持管理

経費も必要となることから、必要な一般財源を捻出するために既存の事業の見直しや廃止を行い、十分な財源計画を練り上げた上で着手する必要があると考える。

地方自治体の広域連携

問 地方自治体の広域連携は、地方自治体が主体的に検討し、不具合があれば議論し、国に伝えるという順序であるべきと考えるが、国が地方を管理するのが当然という前提で制度を検討しているかのような地方制度調査会について、市長はどのように捉えているのか、本市の経営に取り組む決意を示してほしい。

答 必ずしも国の制度に基づく広域連携である必要はなく、市民にとってメリットが見いだせるものであれば、国の制度の枠に縛られることなく、独自の形の連携を構築していくことが可能であると考えている。今後とも主体性を持って、住民の福祉の増進を図ることを第一に考え、本市の将来の姿を見据えながら、市政運営にまい進する。

補正予算編成の在り方

問 財政運営について、立て続けの大型事業着手や予期できない有事への対処が本市の財政事情を圧迫したことは事実だが、これを鑑みて、今後、財政の健全性を保つため、どのような運用をするのか。

答 公共施設の整備費や社会保障費が伸びていく中、新型コロナウイルス感染症の影響による大幅な収入減が予想され、財政運営が厳しくなることは避けられない。国庫補助事業も含め、今後の事業執行について、時期や内容、場合によっては執行の是非についても、いま一度十分に精査を行い、判断を行っていく。



建設中の和歌山城ホール

日本共産党議員団



さかくち たみこ
坂口 多美子

生活保護行政

問 新型コロナウイルスの感染拡大が市民に深刻な影響を与えている中、厚生労働省から申請の手続を簡易にすることなど、生活保護の運用について柔軟な取扱いを認める通知が出ているが、どのように広報しているのか。

答 広く市民に広報するものとは考えていない。相談に来た方、被保護世帯には十分な説明を心掛けています。

特別定額給付金

問 事情で住民登録ができて給付を諦めざるを得ない市民がいるが、市として策を講ずるべきではないか。

答 国や支援団体等と連携し、できるだけ住民登録しやすい環境を整え、給付金を受けていただけるよう取り組みたいと考える。

一般質問



みなみはた さちよ
南畑 幸代

紀ノ川駅のバリアフリー化

問 地域住民の要望は認識しているのか。また、事業者に予算化の意向がある中、今後どう取り組むのか。

答 住民の強い思いは認識している。乗降客数は国の基準に満たないが、南海本線と加太線の乗換駅であり、地域の拠点駅であるため、駅前整備等の一体的な利便性向上に取り組んでいく。

和泉山脈の景観

問 環境省の太陽光発電の環境配慮ガイドラインの内容を市に取り入れる考えはあるのか。また、和泉山脈にある葛城修験の道に対し、景観の配慮はどうか。

答 市の実情を踏まえ、太陽光発電設備等の設置に関する景観ガイドラインへの反映を検討していく。また、葛城修験の道などの歴史的景観資源への近接を避けるなど、適切に対応していく。



もりした さちこ
森下 佐知子

教育行政

問 学校施設の老朽化に対し、建て替え計画はどうなっているか。

答 今年度中に長寿命化計画を立て、まず5年間の整備計画により進める。

問 3か月の学校休業対策のため、夏休みを短縮することに対し、環境整備をした上で給食を実施するべきだと思いがどうか。

答 児童生徒の暑さ対策のため、給食は実施しない予定である。給食室については、簡易なエアコン導入を検討する。

問 コロナ禍の下、新たな業務や第2波、第3波への対策のため、教職員の増員や定数の見直しを考えるべきではないか。

答 感染症への不安、心のケア、学習内容の精選、消毒など、学校が必要な支援の把握に努め、定数の改善も国や県に要望する。

民主クラブ

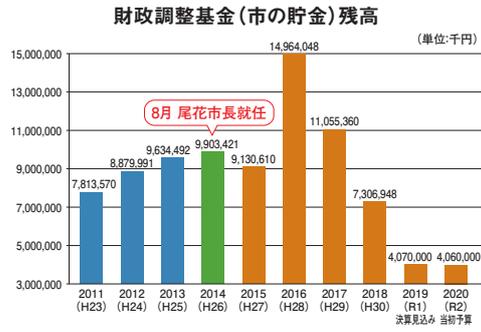


やまもと ただすけ
山本 忠相

アフターコロナ
ウィズコロナ

問 今回のコロナ禍において、経済活動が著しく停滞し、多くの事業者が深刻な状況となっている。これに対し、国だけでなく各地方自治体も知恵を絞り、様々な支援策を講じている。本市の場合、自由度・流動性の高い財政調整基金が年々減少傾向にあり、その残高不足が原因で初動が遅れ、適切な時期に効果的な財政出動ができなかったのではないか。今後は経済・社会・政治のバランスをとるため、財政の復元に向け、過去の計画や因習に捉われないこと、仮に予算化された事業であっても、まず事業の進行を止め、明確な基準のもと進めるかどうか早急に仕分ける中で、たとえ目玉と言える政策であっても基

準に届かなければ止めるといった英断をリーダーとして下すべきではないか。



【答】今回、本市としても市内の活力を取り戻すため、支援を必要としている市民や事業者の方々に対して、いち早く支援を講じるべきとの思いで予算編成を行ってきた。本市の独自施策として、4月臨時会にはテイクアウト・デリバリー実施事業者への支援や事業の拡充・転換支援など、中小事業者への支援に要する予算措置を行った。また、5月には妊婦さん応援事業やひとり親家庭等応援事業など、市民向けの支援に要する予算を専決しており、これらの事業によって最適な時期に

効果的な支援を講じてきたと考えている。今後は、今までの計画や因習に捉われないで、一度立ち止まり、執行時期や内容、また場合によっては執行そのものは是非についても、現在の状況を鑑みて、いま一度十分に精査を重ねた上で判断し、不急の事業については、延期や徹底的な見直しにより財源の確保に努め、健全な財政運営により経済・社会・政治の均衡に最大限努めていきたい。

和歌山興志クラブ



よしもと まさみ
吉本 昌純

マイナンバーカードの活用

【問】新型コロナウイルスにより社会が大きく変化する中、マイナンバーカードの普及を図るとともに自治体独自の魅力ある行政サービスをひも付けし、行政の効率化につなげる必要がある

と考えるが、普及が進んだ後、どう活用していくのか。
【答】今般のようなコロナ禍においては、感染リスクを抑制できる非接触型で迅速なオンライン申請業務の拡充、本人確認機能を活用したクラウドサービスを発展的に活用することにより、社会保障の公平性の実現、行政の利便性の向上、運用効率化等を実現するものと考え、カード利活用シーンの拡大に取り組んでいく。

PCR検査体制の強化

【問】感染症の第2波に備え、ワクチンや治療薬が開発されるまでは、市民の不安や心配を減らすことが重要だと考えるが、PCR検査の検査条件などを緩和し、検査数を増やすことを考えてはどうか。また、短時間で陰性・陽性を判別できる抗原検査を用いる予定はあるか。

【答】新しい機器の導入により一日の最大検査数が68検体に増えたが、更に136検体に増やせるよう、新たな検査員を養成している。また、抗原検査は、集団感染のおそれがあるときに

は、効率的に判別する方法として有用であると考え、今後の第2波以降に備え、効果的な方法として検査体制の強化に努めていく。



ドライブスルー方式のPCR検査

日本維新の会



なかしやうや こうじろう
中庄谷 孝次郎

新しい働き方行政改革

【問】新型コロナウイルスの影響で働き方が変わる中、あらゆる事態に対応できるように、本市の業務のあり方を見直してはどうか。

【答】在宅勤務や分散勤務などの諸課題を検証し、密を

中核市としての判断基準

【問】学校の臨時休業延長は、直前の発表で混乱を招いたが、なぜ県の動向に左右されない本市独自の判断基準を作らなかったのか。

【答】大阪府との行き来が多く、感染リスクが高いため、広域的な観点から県と連携し、感染症拡大防止に取り組むべきだと判断した。

声の市議会だより

(市議会だよりの音声版)

市議会の活動をより一層知っていただくために、声の市議会だより(市議会だよりの音声版)を作成しています。

ご希望の方は、議会事務局 議事調査課
☎435-1120 までご連絡ください。

委員会審査の概要

総務委員会

当委員会に付託された承認案件2件及び議案9件について、慎重審査の結果、承認及び可決すべきものと議決されました。なお、議案の主なものについては、次のとおりです。

議案第1号、令和2年度和歌山市一般会計補正予算(第5号)中、企画事業314万4千円について。これは、官民SDGsワークショップの開催に関連してアドバイザーを招へいするとともに、SDGs普及啓発を目的に実施するシンポジウムに対し、交付金を交付するものです。

地域防災事業320万円について。これは、地区防災会の防災資機材の整備に要する費用を助成するものです。

賦課徴収事業5283万2千円について。これは、新型コロナウイルス感染症の影響により法人市民税の払戻金等を増額するものです。

議案第4号、和歌山市新型コロナウイルス感染症対策を推進するとともに、影響を受ける子育て世帯等の支援及び保健医療の充実に資するため、本市を応援しようとする

方々の理解と協力の下、基金を設置するものです。



議案第5号、和歌山市税条例の一部を改正する条例の制定について。これは、新型コロナウイルス感染症及びまん延防止のための措置が納税者に及ぼす影響の緩和を図るための地方税法等の改正を受けて、所要の改正を行うものです。

議案第25号、令和2年度和歌山市一般会計補正予算(第6号)中、大規模災害用備蓄対策事業2096万2千円について。これは、災害時における新型コロナウイルス感染症対策としてマスク、避難所間仕切りを購入するものです。

避難場所整備事業423万5千円について。これは、避難所における新型コロナウイルス感染症対策としてフェイスシールド、手指消毒用アルコール等を購入するものです。

厚生委員会

当委員会に付託された承認案件5件及び議案7件について、慎重審査の結果、承認及び可決すべきものと議決されました。なお、議案の主なものについては、次のとおりです。

議案第1号、令和2年度和歌山市一般会計補正予算(第5号)中、住居確保給付金事業4428万円について。これは、新型コロナウイルス感染症の拡大により、住居確保給付金の支給対象が拡大されたことに伴い、増額補正するものです。

新型コロナウイルス感染症対策事業2670万5千円について。これは、公立保育所等でマスク等を購入し、私立保育所等での購入費用を補助するものです。

健康危機対策事業2175万9千円について。これは、新型コロナウイルス感染症対策として、検体採取等のための資材の購入、コールセンター業務の委託料など費用を増額するものです。

新興感染症等検査体制強化事業1557万6千円について。これは、新型コロナウイルス感染症に係るPCR検査等の試薬や検査体制強化のための新たな検査機器を購入するものです。

議案第7号、和歌山市隣保館条例の一部を改正する条例の制定について。これは、隣保館の使用料及び使用時間について、近隣の公共施設との均衡を図り、使用の不許可事由を現在の取扱いに合わせ、明確にするため、所要の改正を行うものです。



なお、審査過程において、令和元年度国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算見込及び令和2年度国民健康保険料率等、国民健康保険料、後期高齢者医療保険料及び介護保険料の減免、和歌山市立芦原共同浴場の運営、新型コロナウイルス感染症対策、生活保護法第78条の適用状況、障害福祉サービス事業所の指定の取消し、海水浴場、太陽光発電事業の進捗について、執行部からそれぞれ報告があり、これらに対し、各委員から意見、指摘及び要望がありました。



委員会の様子をインターネットで配信しています！

QRコードから録画中継がご覧いただけます。

経済文教委員会

当委員会に付託された承認案件1件及び議案8件について、慎重審査の結果、承認及び可決すべきものと議決されました。なお、議案の主なものについては、次のとおりです。

議案第1号、令和2年度和歌山市一般会計補正予算(第5号)中、観光基盤整備事業515万99千円について。これは、老朽化が進んでいる友ヶ島野奈浦棧橋の整備に向けて、棧橋の現況を把握するための調査を委託するものです。

和歌山城公園管理事業100万円について。これは、新型コロナウイルス感染症拡大に対応する医療従事者等に感謝の気持ちを伝えるため、和歌山城天守閣においてブルーライトアップを行うものです。

放課後児童健全育成事業(若竹学級)6000万4千円について。これは、児童数の増加により必要教室が不足するため、校舎内に設置している若竹教室について、専用教室を建設するものです。

議案第19号、指定管理者の指定について。これは、和歌山城ホールの開館に向けた準備業務を行うため、令和2年8月1日から指定管理を行うものです。

議案第25号、令和2年度和歌山

市一般会計補正予算(第6号)中、生徒指導補助員配置事業236万1千円について。これは、夏休みを短縮する期間、各学校現場をサポートするために必要な生徒指導補助員を派遣するものです。



医療従事者等に感謝の気持ちを伝えるライトアップ

小・中学校維持管理事業223万5千円について。これは、小・中学校の臨時休業による学習不足に対応するため、夏休みを短縮することに伴う空調等の光熱水費等を増額するものです。

なお、審査過程において、有吉佐和子邸の復元について、和歌山市立博物館協議会について、(仮称)つつしが丘総合公園内駐車場等実施設計の概要について、中央卸売市場の南用地について、中学校給食アンケート結果について、執行部からそれぞれ報告があり、これらに対し、各委員から意見、指摘及び要望がありました。

建設企業委員会

当委員会に付託された議案9件について、慎重審査の結果、可決すべきものと議決されました。なお、議案の主なものについては、次のとおりです。

議案第1号、令和2年度和歌山市一般会計補正予算(第5号)中、市道管理事業170万円について。これは、道路の不具合に迅速に対応するため、アプリを活用して市民から通報を受けることのできるシステムを導入するものです。



アプリを活用した通報イメージ

公園整備事業1億249万1千円について。これは、都市公園に設置されて相当数の年月が経過し、老朽化が進んでいるトイレ、遊具施設について、交付金を活用し、トイレのバリアフリー化、遊具の撤去更新整備を進めるものです。



整備後の遊具

火災をなくす市民運動事業260万円について。これは、軽可搬式消防ポンプ一式等を婦人防火クラブに交付したり、HPやSNS、防火セミナー等で使用する防火啓発動画を作成するものです。

議案第12号、和歌山市消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例の制定について。これは、非常勤消防団員等に係る損害補償の基準を定める政令が令和2年4月1日に改正され、補償基礎額が引き上げられたこと及び民法が改正され、法定利率が改定されたことに伴い、所要の改正を行うものです。

永年在職 議員表彰

和歌山市議会6月定例会において、永年在職議員として、次の議員が表彰されました。



ひめだ たかひろ
姫田 高宏 議員

在職25年



わかやま市議会だよりが『優秀賞』を受賞!

4月14日に松山市で開催された中核市議会議長会第15回議会報コンクールにおいて、わかやま市議会だより2月定例会号(令和元年5月発行)が60市の中から『優秀賞』に選ばれ、昨年の『審査員特別賞』に続き、2年連続の受賞を果たしました。

和歌山市議会では、どなたでも手に取ってもらえる市議会だよりを目指し、各家庭への配布に加えて、駅前やショッピングセンターなどでも街頭配布を実施しています。これからも市民の皆様からのご意見を参考に「見やすい、読みやすい、親しみのある紙面づくり」に取り組んでいきます。



新型コロナウイルス感染症対策 台湾からの支援物資に感謝!

台湾から新型コロナウイルス感染症対策支援として、日台友好和歌山市議会議員連盟を通じて多くの医療物資を和歌山市に寄贈いただきました。

6月1日時点で世界華人工商婦女企管協会日本関西分会からマスク2,000枚、高雄市医師公会から防護服300着とフェイスシールド60個、横山企業有限公司からエアロゾルボックス30個、台湾日本関係協会からマスク5,000枚を受け入れています。

台湾の皆様からの善意に心から感謝いたします。日台友好和歌山市議会議員連盟では、今後とも、台湾との友好交流に努めてまいります。



ご意見・ご感想をお待ちしております

和歌山市議会広報委員会

- 【委員長】西風 章世 【副委員長】丹羽 直子
 【委員】中村 朝人 赤松 良寛 山中 敏生
 川端 康史 山野 麻衣子 坂口 多美子
 藪 浩昭 古川 祐典 北野 均
 佐伯 誠章

〒640-8511
 和歌山市七番丁23番地
 和歌山市議会広報委員会 宛
 TEL : 432-0022 (議会事務局)
 FAX : 424-9276
 Mail : gikaidayori@city.wakayama.lg.jp



和歌山市議会ホームページ
<http://www.city.wakayama.wakayama.jp/gikai/>

地球環境保護のために、
 植物油インキを使用しています。

